

抽選方法の説明

今回申込みを受け付けた天皇陛下御即位記念貨幣ブルーフ貨幣セットについては、抽選対象数を超える多数のお申込みがありましたので、次のとおり抽選を行います。

【申込状況及び抽選対象数】

区分	天皇陛下御即位記念 一万円金貨幣ブルーフ貨幣セット (金貨単体セット)	天皇陛下御即位記念一万円金貨幣 五百円バイカラー・クラッド貨幣ブルーフ貨幣セット (2点セット)
申込数	289,007	373,109
販売数	20,000	30,000
抽選 対象数	18,000()	27,000()
当選倍率	16.06	13.82

「抽選対象数」は、「販売数」から、海外販売用等を控除した抽選対象となる数量を示しています。

【抽選方法例】(金貨単体セット)

全てのお申込み(はがき及びオンラインショップでの申込み)に「1」から順番に受付番号を付します。なお、オンラインショップでの申込みには、はがきでの申込みが付した最終の受付番号の次の番号から受付番号を付して整理しています。これらの受付番号 1,000 ごとを 1 ユニットとし、その順番をユニット番号とします。

最初に、受付番号の下 2 桁の当選番号を決定します。

「0」～「9」の番号を付けた 10 個のボールを、「黄色(十の桁)」及び「赤色(一の桁)」の箱に入れ、抽選者が、その箱の中からボールを 1 個ずつ取り出す方法により行います。当選番号は、そのボールの番号を優先順位第 1 位とし、以下の優先順位は、その番号に順次 1 を加えた数とします。なお、この際、「99」の次は「00」とします。

次に、申込みの整理順による不公平をなくすため、抽出を開始するユニット番号を決定します。

「0」から「2」までの番号を付けた 3 個のボールを「青色(百の桁)」の箱に入れ、「0」から「9」までの番号を付けた 10 個のボールを「黄色(十の桁)」及び「赤色(一の桁)」の箱に入れ、それぞれの箱からボールを 1 個ずつ取り出す方法により行います。

により決定されたユニット番号から、で決定された当選番号の順に、受付番号の下 2 桁の番号が当選番号と一致する申込みを順次抜き取り、18,000 個目までを当選とします。

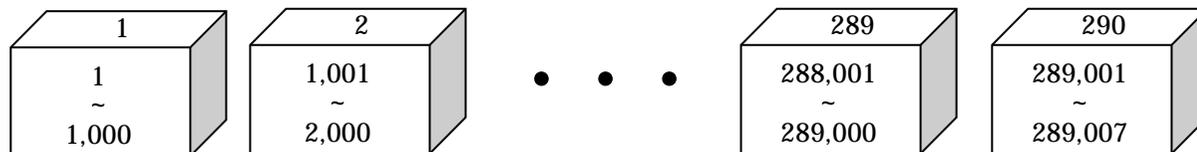
18,001 個目以降の申込みは、キャンセル等が生じた場合の補欠とします。

(参考)抽出例(天皇陛下御即位記念一万円金貨幣プルーフ貨幣セット(金貨単体セット))

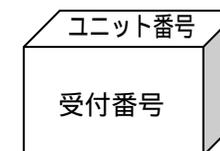
天皇陛下御即位記念一万円金貨幣 五百円バイカラー・クラッド貨幣プルーフ貨幣セット(2点セット)についても、同様の方法により抽選を行います。

すべての申込みに1から順に連番を振り、1,000ごとを1ユニットとします。

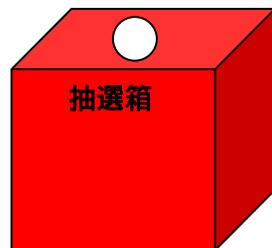
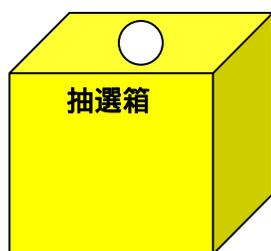
申込数 289,007
 抽選対象数 18,000
 当選倍率 16.06



(凡例)
 申込みの束(ユニット)
 のイメージ図

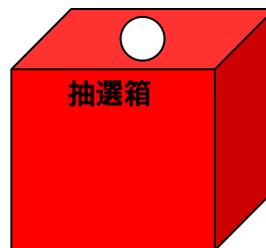
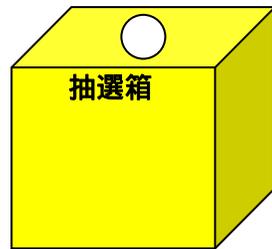
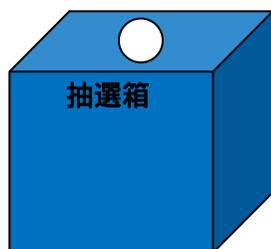


当選番号を決定するために、「黄色(十の桁)」及び「赤色(一の桁)」の抽選箱から各1個、ボールを取り出します。

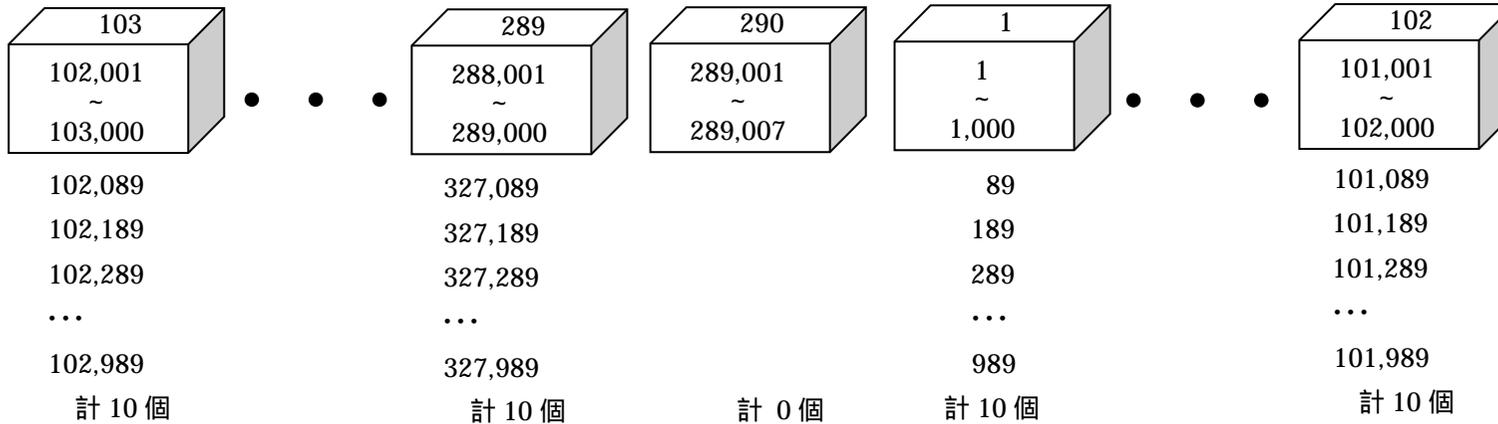


[当選番号の優先順位 : 89、90・・・99、00
 01、02、・・・88]

また、抽出を開始するユニット番号を決定するため、「青色(百の桁)」、「黄色(十の桁)」及び「赤色(一の桁)」の抽選箱から各1個、ボールを取り出します。



抽選されたボールの番号により、ユニット番号 103 番から、順次、下 2 桁 89 番の申込みを抜き取ります。

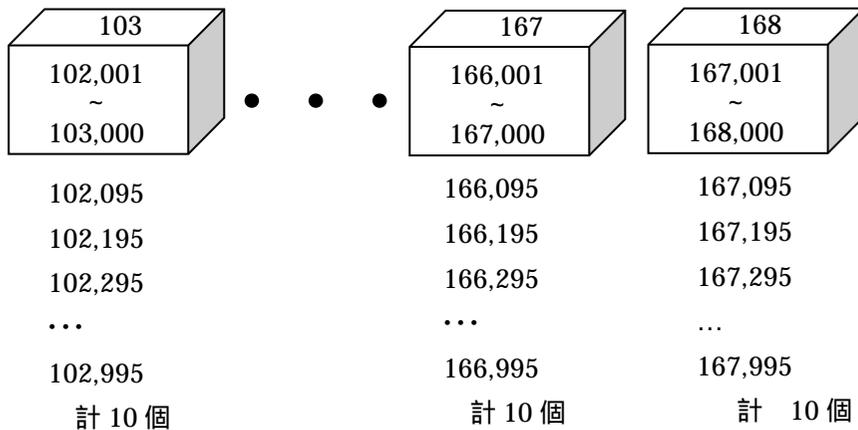


小計 2,890 個

下 2 桁 90 番、91 番、92 番、93 番、94 番の申込みについても、同様に抜き取りを行います。

小計 14,450 個
合計 17,340 個

さらにユニット番号 103 番から、順次、抽選対象数の 18,000 個となるまで、下 2 桁 95 番の申込みを抜き取ります。



小計 660 個
累計 18,000 個

ユニット番号 169 番の受付番号 168,095 番以降の申込みについては、キャンセル等が生じた場合の補欠となります。